

はじめに

聖アポロニアについて教えてくださったのは私のライター、榎 恵先生である。榎先生は日本歯科医専を卒業されてから、引き続き米国のテキサス大学でさらなる研鑽を積まれた。この留学当時、歯痛の守護神として聖アポロニアの存在を知ったのである。帰国後、1941年には先生は私版本として『聖あぼろにあ記』を100部製作し、諸先輩と友人に配布された。戦前の話である。

私は戦後の昭和22年、第1回歯科医師国家試験を受けて歯科医師免許を取得し、大学附属病院の副手として勤務した。そのときのライターが榎先生だった。あるとき、「これは私版本『聖あぼろにあ記』だよ。歯の神様だから見てごらん」と。以来、私の脳裏に『聖アポロニア』が強く焼き付いた。早速、戦前出版された榎先生の私版本を求めて神田の古本屋を漁ってみたが、まったく手懸かりはない。半ば諦めていたところ、「三浦先生、ありました」という電話、10年越しの願いが叶った次第である。以来、私の『聖アポロニア』蒐集が始まった。

ところで、私は歯科矯正学を専門に長年教鞭を執ってきた。当然、矯正器材を通じて業者の方々と交際する。やがて、業者の吉見健児君が私の中高等学校の後輩であることを知った。さらに、彼の同級生に床矯正の大家である鈴木設矢先生がいることも知った。ひょっとした切っ掛けに、聖アポロニアが話題にのぼる。当然、榎先生の私版本についても話が進む。鈴木先生が強い関心を示した。曰く、「榎先生は私の大学の先輩で、先生の私版本にさらなる資料を加えて新しく『聖アポロニア』を出版し、後世に残しましょう」ということになった。そして、『聖アポロニア』を求めてヨーロッパ旅行を実行するに至ったわけである。つくづく先生の気心に敬服する次第である。

東京医科歯科大学名誉教授 三浦不二夫